

令和6年2月29日

足立区立西新井小学校
校長 加納 和彦 様

足立区立西新井小学校
開かれた学校づくり協議会
会長 須藤 勝志

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

今年度は、「自己教育力を高める学校」にすることを目標にして、重点目標 ①学力向上アクションプラン ②安全で安心できる学校づくり ③開かれた学校づくり を推進された。

また、新型コロナウイルスの分類が5類になった5月以降は、コロナ前に戻ったような教育活動を展開していた。そして、足立区の情報教育の研究拠点校を継続するとともに、文部科学省の「リーディングDX事業連携協力校」にも指定され、ますますICTを活用した授業改善が充実しているとの説明があった。足立区学力定着に関する総合調査においては、目標通過率80%は達成したが、各教科の正答率は80%に届かなかったようだ。このことを次年度の課題として、児童の基礎学力の確実な定着と教員の授業力向上に引き続き尽力して欲しい。

《重点1：学力向上アクションプラン》

「足立スタンダード」並びに「西新井小スタンダード」(教師編)の活用については、これまでも説明を受けてきた。コロナ禍において「西新井小スタンダード」(児童編)と「新しい生活様式」を改訂したのと同じように必要に応じて見直し、改訂版を作成されたい。リーディングDX推進校の参観を受けて「新しい学びのスタイル」の試案を提示されたことは、今後の活動に期待がもてる。

高学年の教科担任制(英語・家庭科・総合的な学習の時間)は定着しつつあり、デメリットよりもメリットの方が大きいとの報告があった。児童の学力向上、教員の働き方改革、中学校へのなめらかな接続などの観点から、よいことだと受け止めている。

コロナ対策が緩和されてからは、地域の図書ボランティアによる読み聞かせが復活し、絵本作家による「ライブ絵本」の活動も再開された。また、様々な学校行事に地域の保育園児が参加している様子を見かけた。地域と連携した教育活動の復活・充実も順調なようである。先日の道徳授業地区公開講座では大勢の保護者が授業を参観し、講演会にも熱心に参加している姿を見た。今後も保護者や地域と協力して、実り多い教育活動を展開して欲しい。

《重点2：安全で安心できる学校づくり》

「いじめの防止・早期解消」という項目について、6学年で重大事案が発生したという説明があった。幸いにも、命に別状なくその後の経過も良好だということで少し安心した。子供同士のトラブルは今後も起こりうるが、適切な対応と早期解決を引き続きお願いする。

令和6年度の「防災教育チャレンジプラン」に応募し、活動計画が採用されたとの説明があった。元日に能登半島地震が起きたように、災害はいつ発生するか分からないので、日頃の防災教育を充実させることは非常に大切である。ぜひ、保護者・地域を巻き込んで取り組んで欲しい。避難訓練や安全点検などを確実に行之、児童が安心して安全に楽しく生活できる学校づくりを今後も継続して欲しい。

《重点3：開かれた学校づくりの推進》

今年度の当初計画ではコロナ禍における制限解除後の様子が見通せず、十分な記載がないが、夏休みのラジオ体操・ゆかた着付け教室などが復活した。また、今年度の茶道教室はコロナ前のスタイルに戻ったそうである。次年度以降は、コロナ禍中も継続していた親子ふれあい農園・花いっぱい運動に加えて、子供たちと保護者・地域が学校と一体となった活動の充実を期待したい。

2 保護者や地域へメッセージ

- ・西新井小学校は、創立94周年（前史を含めると150周年）を迎える歴史と伝統のある学校です。
- ・西新井小学校は、文部科学省のリーディングDX事業の連携協力校に指定され、ICTを活用した授業の様子を全国の学校に向けて公開・発信しています。子供たちの健やかな成長と情報活用能力向上のために、学校の教育活動を支えて参りましょう。
- ・安全で安心できる学校づくりのひとつで、特色ある教育活動②防災教育では、令和6年度「防災教育チャレンジプラン」に取り組むので、これまで以上に保護者・地域の協力が必要です。案内に従って、進んで参加しましょう。

3 その他

- ・運動会は、内容を精選して午前中に終了する形に改善された。しかし、校庭の気温や日よけについては保護者から時期の検討や新たな対応を求める声が届いている。次年度に向けて、学校と相談して更なる改善に協力していきたい。
- ・卒業式・入学式に来賓が参加できるようになった。今後も、学校の教育活動の様子をできるだけ参観して、よりよい学校づくりに協力していきたい。

以上